4. 徳島南部自動車道開通の効果について

4.1 徳島南部自動車道開通の効果

- 〇徳島南部自動車道において令和3年3月に徳島沖洲IC~徳島津田IC、令和4年3月に徳島JCT~徳島沖洲ICが開通。
- 〇開通にともない、並行する道路の交通量は、国道11号は最大9%、徳島環状線で最大13%減少。また、並行する道路の旅行速度は朝ピーク時で <u>約1~5km/h向上</u>しており、渋滞損失時間は<u>約2~5割減少</u>。 ※今後、旅行速度等の面的な開通影響分析を実施予定。

位置図



▼開通区間の交通状況

写真① 徳島本線料金所周辺

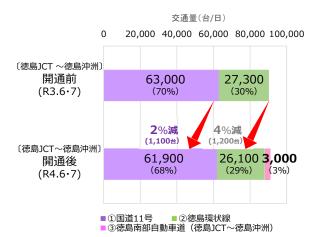


🌑 写真② 徳島沖洲IC周辺



断面交通量の変化

▼吉野川断面



▼新町川断面

交通量(台/日) 20,000 40,000 60,000 80,000 100,000 〔徳島JCT ~徳島津田〕 56,000 35,000 開通前 (62%) (38%) (R3.2)[徳島沖洲~徳島津田] 52,200 30,500 5,700 開诵後 (59%) (35%)(6%) (R3.6)(4,800台) (4,400台) 〔徳島JCT~徳島沖洲〕 51,200 9,200 30,600 開诵後 (56%) (34%) (10%) (R4.6)■4)国道11号、■5)徳島環状線

■⑥徳島南部自動車道(徳島沖洲〜徳島津田)

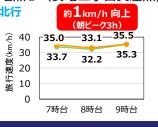
交通量調査結果

- ·開通前(徳島JCT ~徳島津田):R3.2.25(4)·5)(徳島JCT ~徳島沖洲)
- R3.6.22(1) , R3.7.6(2)
- ·開通後(徳島沖洲 ~徳島津田):R3.6.22(④·⑤)(徳島JCT ~徳島沖洲 R4 6 23(1) · (4) · (5)) R4 7 12((2)) 国道11号と徳島環状線の交通量は、昼夜率を用いて12時間交通量を日交通量に換算
- ・開通後(徳島JCT ~徳島沖洲): R4.6.1~30(③) (徳島沖洲 ~徳島津田): R3.6.1~30(⑥) (徳島JCT ~徳島沖洲): R4.6.1~30(⑥)

旅行速度の変化









※出典:ETC2.0プローブデータ【平日】7:00~10:00 ·開通前(徳島JCT~徳島津田):R2.10~11 ·開通後(徳島JCT~徳島沖洲):R4.4~5

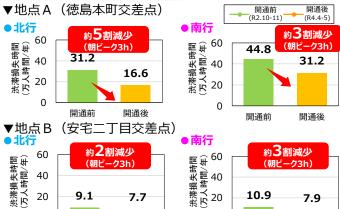
10.9

開诵前

7.9

開诵後

渋滞損失時間の変化



※出典:ETC2.0プローブデータ【平日】7:00~10:00 ·開通前(徳島JCT~徳島津田):R2.10~1 ·開通後(徳島JCT~徳島沖洲):R4.4~5 交通量調査結果7:00~10:00

開通前

開通後

20

◆すいでいる時の所要時間◆ ·開通前(徳島JCT~徳島津田):R3.2.25 ·開通後(徳島JCT~徳島沖洲):R4.6.23